

10月は南部Bブロック新人大会や全町運動会もありました。残暑が長引いて暑かった毎日でしたが、10月後半からようやく涼しくなり、秋らしい気候となってきました。各学年での人権学習の様子をお知らせします。

1年生

11月19日(火)に阿南支援学校で中学部の皆さんとの交流学习があります。阿南支援学校の体育館でポッチャをする予定です。前段階の授業として11月6日(水)に阿南支援学校の先生をお招きして「障がいについて」「阿南支援学校での学校生活について」といった話を伺う予定です。また、学級で「自分以下を求める心」「人の値打ち」「半人前から一人前へのパスポート」「弟のこと」といった授業を進めてきました。この学習で障がい者やその家族の思いを考えることができました。

☆「あなたの思う『値打ちのある生き方』をするために、どのように考え行動していきますか。」

差別はしない。決めつけない。周りの人を大切にする。中身を大切にする。相手のいいところを見つける。相手も自分も気づかう。

その情報が本当か、自分で確かめる。学歴、肩書き関係なく、どのような人間であるか、接してみて判断する。

人のことは外見などだけでなく中身をしっかり見るし、自分も外見だけでなく中身を大切にする生き方。

2年生

11月7日(木)に2年生の希望者が長岡東教育集会所で行われている識字学級を訪問させていただきます。それまでに「手紙一タやけがうつくしい」を学習し、福井中学校2年生が上演した人権劇のDVD「あいうえお」を鑑賞しました。初めは阿南市内で識字学級が行われていることを知らなかった人もいましたが、識字学級での体験にも意欲的になってきました。学習の様子は、次回報告したいと思います。

☆人権劇『あいうえお』のDVD鑑賞をして

文字を書けることが当たり前のことではなく、大切に素晴らしいことだと感じるようになりました。いろいろなことを知ることができるのは、自分の心を豊かにしていけることだと思うので、進んでたくさんのことを学びたいです。人権についてたくさん教えてもらえると思うので、より識字学級に興味をわいたし、行きたいと思いました。

僕は、差別や人権問題についてわかっているつもりでした。でも、自分が本当に差別や人権問題について知るには、今までよりもっと勉強する必要があると思いました。劇を見て学んだことを覚えておきたいです。

僕は、このDVDを見る前は、識字学級に行くのは反対でした。面倒くさいし、そんなところへ行っても何もなければと思うしていました。でも、今は、識字学級の必要性や勉強できなかったことのつらさを知ったので、識字学級に行って、さらに識字学級の人の話を聞きたいと思います。

3年生

「話してくれてありがとう」の教材を使って、同和問題学習、結婚差別について学習しています。

☆「同和問題に関する意見や考え方」の統計グラフから、考えたことを話し合いました。

「自然となくなるから、教育や啓発はしない方がいい。」と答える人が30%もいて驚いた。自然となくなるから(学習)しているのに、どうしてそう思うのか疑問に思った。

差別する人はまだまだこの世の中にはいると思うので、そういう人につられず、しっかり自分の意思をもってみんなに伝えていきたいと思った。みんなが意識したらなくなることなので、国民全体で考えるべきだと思った。

人権ポスター作品

